

4 入札制度による仕入れ改善

マルチフィルムや防曇袋のほか、今年度からは新たに茎葉除草剤を加えた各種園芸資材について入札制度を導入しており、仕入価格の低減を実現しています。

(例)

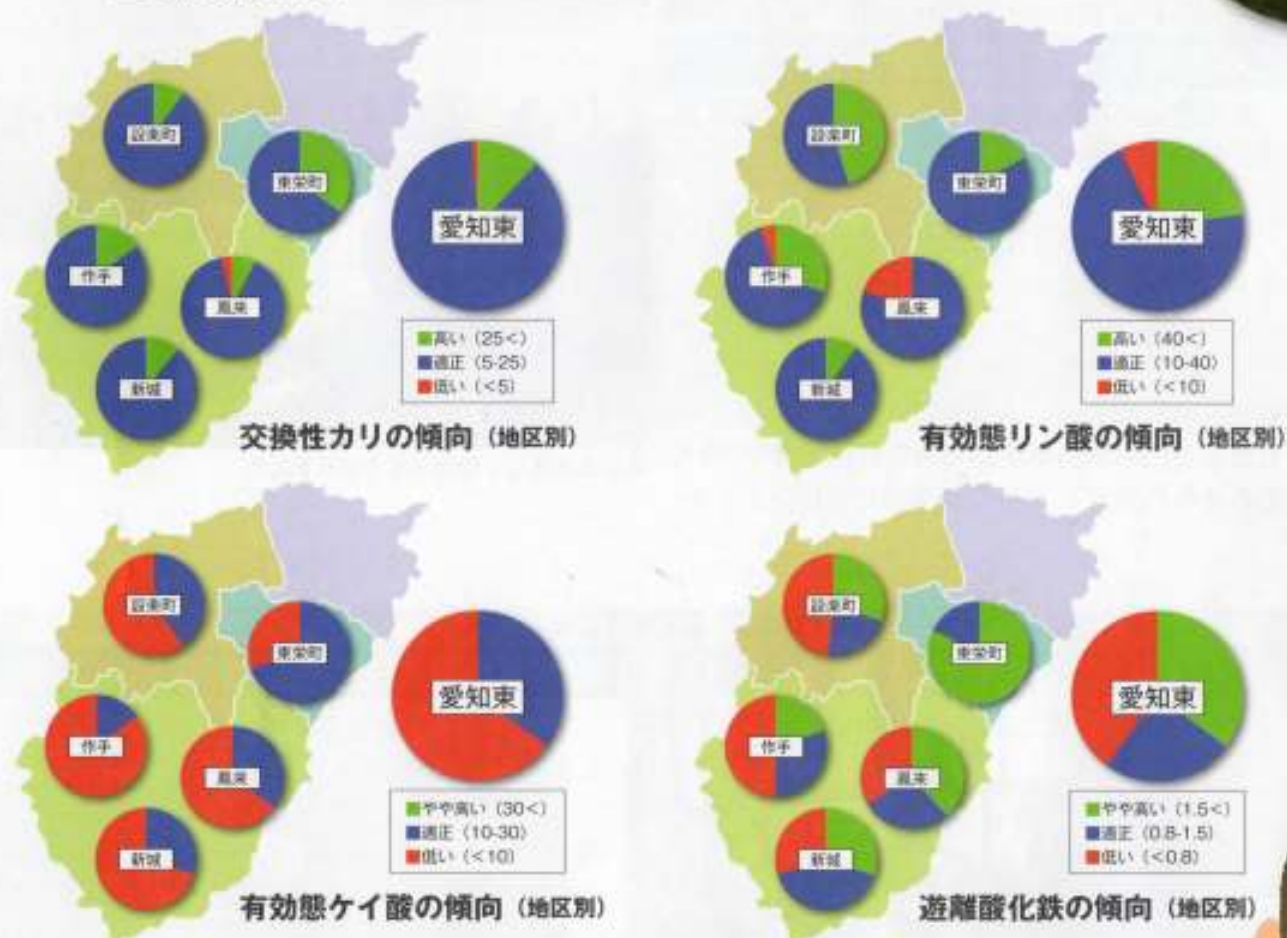
品名	当用価格→入札後価格	価格差
黒マルチフィルム幅120cm200m巻	1,755円→1,589円	166円値下げ
黒マルチフィルム幅180cm200m巻	2,743円→2,385円	358円値下げ
防曇袋11号100枚入り	174円→162円	12円値下げ

※茎葉除草剤は入札中(ラウンドアップ、バスタ、サクサ、草枯らし)

5 指導購買による資材価格の低減

水稲、野菜、果樹についてJA独自の栽培こよみを毎年作成し、品目ごとに適した資材を提供しています。また、地元農家の協力を得て実証試験を行い、管内の気候や土壌などに合った省力・低コスト資材を選定し、指導購買(農家への提案)により生産コスト低減に繋がっています。

土壤診断結果表 ※JA愛知東管内水田186地点調査(平成27年県下一斉調査結果より)



JA愛知東管内の土壤診断結果として、鉄とけい酸の不足が目立つため、
土壤改良剤及びけい酸加里の施肥を推奨しています。

6 価格調査による適正価格の設定

生産部会の代表者で組織する購買取引委員会(年2回開催)では、原料の動向や資材価格の情勢を把握し、適正価格の設定に努めています。

JAが取り組む 農業資材の価格対策

JA愛知東が実践する「自己改革」では、

「生産コストの引き下げ」を重点項目の一つとして掲げています。

近年、肥料や農薬などは、業界の競争も激しくなっていますが、

“集まって強くなる(スケールメリット)”というJAグループの特性を活かし、

事前の予約で数量をまとめて集中仕入れする事により仕入価格を引き下げて

確かな品質のものを農家により安く提供できるよう努めています。

1 稲作用肥料対策 ～予約取りまとめによるコスト削減

JAでは、稲作用肥料の主要銘柄10品目を予約注文として取りまとめ、通常価格より10%値引きで提供しています(翌月決済に限る)。

- ・稲作用元肥……………8品目
- ・稲作用追肥……………1品目
- ・けい酸加里肥料…………1品目

2 稲作用農薬対策 ～割安な大型規格の取り扱い

完全受注生産により、通常規格よりも割安な大型規格(10kg等)8品目を取り扱っており、殺菌剤や除草剤など水稲用農薬を1kgあたり3~23%値引きで提供しています。

(例) 水稲除草剤

品名	値引率
カチボシ粒剤10kg (1ha分)規格	1kg(10a)換算で約 11%割安
カチボシLジャンボ900g (30a分)規格	300g(10a)換算で約 10%割安
トップガンGT粒剤10kg (1ha分)規格	1kg(10a)換算で約 23%割安

3 銘柄集約による低価格化の実現

汎用性の高い園芸肥料を農家の皆さんに提案することで銘柄集約を行い、資材メーカーへの大量発注により、コスト低減肥料の取り扱いに繋がっています。

野菜の肥料元肥

品名(窒素・リン酸・カリウム)
BBわかばの友484(14-8-14)
高度園芸13号(16-8-12)
野菜エース(12-6-8)



品名(窒素・リン酸・カリウム)	容量20kgでの価格差
BB462(14-6-12)	約 670~860円 割安